

第10回 関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会 開催概要

関川・姫川流域では、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨での大規模な氾濫被害を踏まえ、地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するための「関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しています。

令和5年4月に開催した「第10回協議会」では、各機関における減災対策の取組状況や、前回協議会以降の新たな取組である「水害リスクライン」と「洪水キキクル」の一体配信、気候変動を考慮した関川水系河川整備基本方針の変更について情報共有を図りました。なお、本会議はWEB会議方式にて開催しました。

開催概要

■日時 令和5年4月26日 11:00～12:00

(WEB会議形式による開催)

■出席者

<構成機関>

高田河川国道事務所、上越市、糸魚川市、妙高市、
新潟県上越地域振興局地域整備部、新潟県糸魚川地域振興局地域整備部、
気象庁新潟地方気象台、上越地域消防局

<オブザーバー>

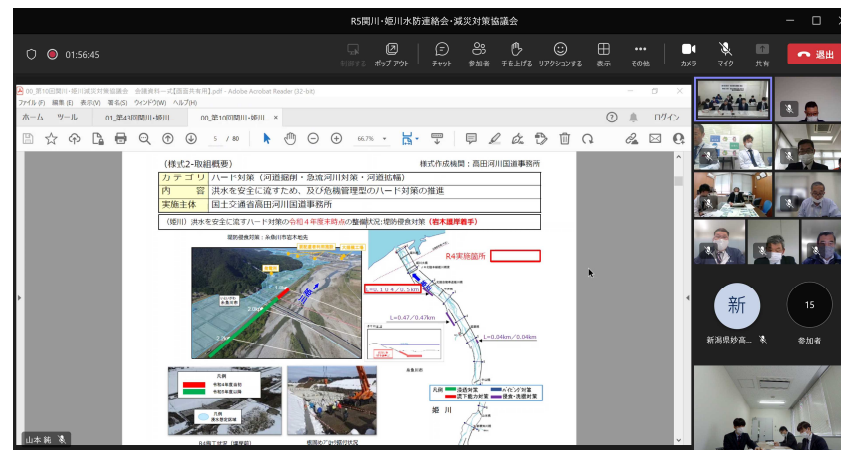
新潟県上越地域振興局農林振興部
中部電力株式会社再生可能エネルギーカンパニー長野水力センター
えちごトキめき鉄道株式会社
北越急行株式会社

議事内容

- 事務局挨拶:高田河川国道事務所 堀事務所長
- 各機関の取り組み状況及び新たな取組の提案
 - 関川・姫川流域の減災に係る取組概要
～各機関における取り組み状況～
 - 今後の進め方について
- 前回協議会以降の新規トピックス等
 - 洪水に関する危険度情報の一体的発信について
(「水害リスクライン」と「洪水キキクル」の一体的配信)
 - 気候変動を考慮した関川水系河川整備基本方針の見直しについて
- 意見交換
➤ なし



第10回 減災対策協議会の様子



各機関の取り組み状況の説明の様子